

【目指す姿】
ふるさとを好きになり、大切にする子

	評価項目	評価基準	1 学期		2 学期	
			評価	分析及び考察	評価	分析及び考察
成果及び教育活動	○積極的に地域とかかわり、地域を生かした探求的な学習をすることで、ふるさとを好きになり、大切にしていこうとする児童が増える。	・職員アンケートで目指す姿を達成した児童の割合が全体の８５％以上。 「活動を通して、地域の人や自然のよさが分かり、それを大切にしていこうとしている。」 ・児童アンケートで目指す姿を達成した児童の割合が、全体の８５％以上。 「活動を通して、地域の人や自然のよさが分かり、それを大切にしようと思いましたか。」 →両方とも達成のときA評価	教師 73.7 % 児童 73.6 % (参考：保護者) 71.5 %	<総合評価：B> ・コロナ禍であったが、ほとんどの学年が地域とかかわる活動をすることができた。 ・学年によっては、1学期は地域を「知る」段階でもあるため、達成率は低かった。2学期以降、地域の人や自然のよさが分かり、活動を深めていけるよう工夫していく。 ・学期を追うごとに達成率が上がっていくことをねらいにしているため、2学期の活動を通して児童が地域のよさを更に知ることができるよう努める。	教師 75 % 児童 77.6 % (参考：保護者) 77.8 %	<総合評価：B> ・学習発表会で、生活科や総合的な学習の時間の取組の成果を複数の学年が発表した。 ・コロナ禍で感染拡大防止策を講じながらも、子どもの学びを保障するために工夫しながら地域のものや人、文化などのかかわり合う活動に取り組んだ。地域に出かけたり、地域の方を招いたりして調べ学習を進めるなど、1学期よりも地域とかかわる機会が増え、地域への理解を深めることができた。 ・3学期は、生活科や総合的な学習の時間の学習のまとめとして、学んだことを地域や保護者へ積極的に発信していく。
	○外国の文化にかかわる活動により、相手の思いを受け止めたり、自国の文化や伝統のよさに気付いたりする児童が増える。	・職員アンケートで目指す姿を達成した児童の割合が全体の８５％以上。 「活動を通して、自国の文化や伝統のよさが分かり、その良さを感じている。」 ・児童アンケートの結果から、国際科の評価基準を達成した児童の割合が全体の８５％以上。 「国際科の活動や外国の友達との活動は楽しいですか。」（低学年） →両方とも達成のときA評価 (参考) 保護者アンケート 「外国の文化や出来事に興味をもっている。」	教師 66.7 % 児童 83.7 % (参考：保護者) 69.9 %	<総合評価：B> ・1学期は、国際交流会が実施できなかったこともあり、留学生を通して外国の文化に触れる機会がなかった。 ・低学年は、休み時間など日常の遊びの中で外国籍児童とかかわる様子が見られた。 ・高学年の国際科について、以前に比べて知識及び技能等の定着の必要性が求められる。他教科とも関連させながら外国の文化にたくさん触れることで、よさに気付く機会を設けていく。	教師 66.7 % 児童 89.2 % (参考：保護者) 71.8 %	<総合評価：B> ・外国の文化や行事について理解したり、自国の文化との違いを学んだりするために、各学年が活動内容を工夫して国際理解教育に取り組んだ。（外国籍児童による自国紹介など）国際交流会も実施することができ、外国の文化に触れることができた。 ・保護者アンケートの文言では、浦佐小学校の実態を評価するには至らないと反省した。来年度見直しが必要。
運営活動	①教科・領域等で地域の人とかかわる場を積極的に設定する。	○地域人材（浦佐地域づくり協議会等も含む）を活用することができた。⇒A評価 ・人材バンクの整備 ・学期末毎に指導計画を見直す。	<取組評価：A> ・地域コーディネーターを介して、地域とのつながりができつつある。 ・地域素材・ボランティアなど、2学期も継続して活用していく。また、加筆修正を加え、人材バンクの充実を図る。		<取組評価：A> ・各学年が見通しをもちながら、生活科や総合的な学習の時間の活動を進めた。コロナ禍ということもあり、状況に応じて計画の修正・変更をしながら実践することができた。 ・今年度の活動を振り返り、来年度に向けて指導計画の見直しや修正をしていく。	
	②活動を振り返る場を設定する。（感謝を伝えるなど）	○活動を振り返る場を設定した。⇒A評価 ・世話になった方に、お礼の手紙を書く場を設定する。 ・3月の生活目標「感謝の気持ちを伝えよう」（こころ部と連携）に関連させた活動を設定する。	<取組評価：A> ・学期末の振り返りやまとめの場を設定することができた。 ・小さな活動の中でもその都度振り返りをしていけるようにする。		<取組評価：A> ・学習発表会や学期末のまとめなど、学習を振り返りながら地域の方や世話になった方に感謝の気持ちを表すことができた。	
	③地域にかかわる活動の充実をはかるために、職員研修を行う。（情報交換など）	○地域にかかわる活動の充実をはかるために、職員研修を行った。⇒A評価 ・「生活科・総合的な学習の時間に関する校内研修」（実践発表と質疑・情報交換）を実施する。（「総合」部と連携）	<取組評価：A> ・地域コーディネーターとの顔合わせも含め、職員研修を早めに実施することができた。		<取組評価：B> ・職員研修を設定することができなかったが、各学年が必要に応じて情報収集を図り、研鑽に努めることができた。また、地域コーディネーターと連携し、学習活動を展開することができた。更に充実を図っていく。	